

小学生異文化体験学習を実施しました。



イギリスのスヌーカーを体験



笑顔で楽しむ児童



真剣に学ぶ児童



テーブルマナーを学ぶランチ



古本を読む児童



スコーン作りを体験する児童



楽しく学習中



館内の説明を真剣に聞く児童



修了証書を受け取る児童

6月6日(金)一小の吉田衛校長を派遣団長として、一小、二小の6年生と引率、合わせて73名が、天栄村のブリティッシュ・ヒルズを訪問しました。

この事業の目的は、ブリティッシュ・ヒルズ(語学研修施設)における、生きた異文化体験活動を通して、国際感覚を身につけるとともに、中学校で一緒になる他校の6年生と交流を深めることです。

出発前に事前学習会が一小で開かれ、児童は、「一小、二小の仲間が助け合いながら活動する」「自信を持って積極的に行動する」など、目標を確認しました。

当日、施設に到着すると外国人講師が児童を出迎え、活動がスタートしました。

初めにオリエンテーションを受けた後、講師の案内でグループ毎に館内を見学しました。児童たちは、イギリス貴族の暮らしを感じさせる建物や館内の調度品などを目の前に文化の違いを感じ、遠い異国の地へ思いを募らせていました。

その後、講師による英会話のレッスンがあり、日常的な会話、楽しいゲームや活動を通してクラスの仲間と英語で質問し合うなど、英語学習への意欲を高めました。

また、イギリスの伝統的なお菓子であるスコーンを作るレッスンでは、講師の英語での説明を一生懸命聞きながら、みんなで協力しておいしいスコーンを作ることができました。

昼食は、英国式のレストラン会場でテーブルマナーを意識しながら、バイキング洋食をおいしくいただきました。

最後に、終了のセレモニーが開かれ、一人ひとりに修了証書が手渡されると、児童は、『Thank you!』と大きな声で感謝の気持ちを表していました。児童たちは、たくさん英語に触れた一日でしたが、疲れた様子も見せず、笑顔で体験学習を終えました。